

齋宮跡のまわりには、たくさんの文化財があります。発掘調査で見つかったもの、古くから伝えられてきたもの、いろいろな記録に残されているもの、それらは齋宮がまだなかったころ、あったころ、なくなった後の豊かな歴史を伝えています。今年、明和町が生まれて60年、この機会にわたしたちの地域の文化に親しむ機会としましょう。



★ 西出遺跡出土 人面土版
縄文時代 三重県埋蔵文化財センター



● 壺 (明和町金剛坂出土)
弥生時代 東京国立博物館



♡ 安養寺跡出土 青磁香炉
鎌倉時代 明和町



◆ 三重県指定文化財
坂本1号墳出土
金銅装頭椎大刀
古墳時代 明和町

こんなものを展示します

★ ご先祖様の顔だよ

西出遺跡出土 人面土版 縄文時代 三重県埋蔵文化財センター

今から2500年ほど昔の縄文時代の人の顔で、二本のまゆ毛がよくわかります。何かの呪術(おまじない)に使ったもののようです。この町内で一番古い人の顔、眉の下はどんな顔だったのでしょうか。

♡ お香の香りとともに海を越えてきました

安養寺跡出土 青磁香炉 鎌倉時代 明和町

今からおおよそ700年昔、齋宮の西、明星に安養寺という大きなお寺ができて、臨済宗という、中国の新しい仏教を伊勢に伝えました。その仏さまに捧げられた香炉は、元(中国)の龍泉窯の名品でした。

この他にも縄文時代の土器や石器、江戸時代の曼荼羅や擬革紙など、地域文化の資料を展示します。

● むかしむかしの壺が帰ってきました

壺 (明和町金剛坂出土) 弥生時代 東京国立博物館

今から100年以上昔に「三重県多気郡齋宮村大字金剛坂」で発掘されたものです。邪馬台国があった頃、伊勢湾周辺で作られていた美しい土器で、「パレススタイル」と呼ばれています。今回は見つかったのはじめてのお里帰り、町内では初公開となります。

◆ 金色に輝く地域のリーダーの刀

三重県指定文化財 坂本1号墳出土 金銅装頭椎大刀 古墳時代 明和町

今から1400年ほど昔、齋宮歴史博物館の北に、全国的でもとびぬけて新しい前方後方墳、坂本1号墳が造られました。この古墳からは地域のリーダーに大和の王権から贈られた美しい刀が見つかりました。

関連企画

「擬革紙を作ってみよう」

日時: 8月25日(土)・26日(日)
9月1日(土)・2日(日)
10:30~15:30

協力: まちかど博物館「擬革紙煙草入資料館 三忠」

● 展示解説会: 7月21日(土) 8月4日(土) 26日(日)
13:30~14:30

● 夏休み自由研究相談会: 8月26日(日) 10:00~15:00
会場: いずれも齋宮歴史博物館エントランスホール (自由参加)

同時開催

「明和町ふるさと会館特別企画展 「遺跡から学ぶ明和の歴史」

会期: 7月14日(土)~9月2日(日)

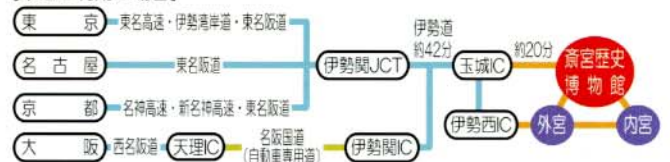
会場: 明和町ふるさと会館

イベント: 8月11日(土) 午前: 展示説明会
午後: 土器づくりワークショップ

連絡先: 多気郡明和町大字馬之上 944-2 Tel 0596-52-7131



【車をご利用の場合】



【鉄道をご利用の場合】



※ A01などは、近鉄線内の駅番号です
※ 京都からは、一部の列車を除き
大和八木駅(B39・D39)で乗り換えます

展覧会情報

三重県総合博物館「おもちゃ大好き!~郷土玩具おもちゃの歴史~」
三重県立美術館「サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法」

7月7日~9月2日

6月30日~9月2日

次回特別展

「イクメン!? 一平安貴族の子育てパパ宣言!!」

10月6日~11月11日